

薬歴管理不適切対応問題に関する業界対応について (第2報)

日本チェーンドラッグストア協会
調剤業務不適切問題対策本部 本部長 宗像 守

平素は大変お世話になり、誠にありがとうございます。

さて、先日より問題になっている「薬歴管理不適切対応問題」について、日本チェーンドラッグストア協会は、現在次のような対応を行っておりますことを、報告させていただきます。

皆様におかれましては、引き続きご指導ご鞭撻くださいますよう、お願い申し上げます。

1. 厚生労働省より要請された「薬剤服用歴の記載状況の自主点検について」を実施
 - 1) 平成27年2月25日に、常任理事会および上場大手企業の経営者に協力を要請した
 - 2) 同日、全会員企業に記入方法の用紙を添えて連絡・要請し、厚労省に連絡した
 - 3) 当協会は、この調査に協力するとともに、再発防止策に力を入れることを確認した
2. 当協会の再発防止に向けた、現在及び今後の活動
 - 1) 臨時の常任理事会および大手企業経営者の会合（2月25日に実施）
→常任理事および大手企業の経営者を集め、再発防止策と周知徹底を要請した。
厚生労働省より要請の「自主点検」への協力と再発防止策の実施を確認した。
 - 2) 社長（代表者）直行便の発送
→2月26日に、医薬分業の目的、薬剤師の役割、保険制度の意味など、分業調剤の原点について徹底するため、経営者に適切な調剤業務の環境づくりを要請する。
 - 3) チェーン本部用と調剤業務店舗用の再発防止点検表を2月26日に会員企業に送付
→チェーン本部と調剤業務店舗の管理体制を強化し、適切な調剤業務を行う点検表を作成し、これを会員加盟企業に連絡する。後日に点検状況を確認し公表する。
 - 4) 有識者によるドラッグストア調剤への提言をまとめる（来週中に設置予定）
→「有識者会議」を設置し、医薬分業、経営者（企業）、薬剤師、その他について、本来やるべきことについて提言をまとめ、公表する。
 - 5) 会員企業薬剤師管理者を集め、説明会および意見集約の実施（3月13日実施予定）
→問題の説明を行い、薬剤師がもつ業務環境の実態、再発防止策や要望を聞き、業界対策をまとめ、これを受け常任理事会が声明を発表する。この声明の内容は公表する。
 - 6) その他、再発防止策として有効な策は、優先して実施する

これらの再発防止策状況に関しましては、速やかに公表または報告させていただきます。
マスコミの皆様におかれましては、なにとぞよろしくご指導をお願い申し上げます。

本件に関するお問い合わせ先

日本チェーンドラッグストア協会 事務局

〒222-0033 神奈川県横浜市港北区新横浜2-5-10 楓第2ビル4階
TEL. 045-474-1311 FAX. 045-474-2569